



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 中 谷 佳 正
幹 事 浅 井 晃 会 報 委 員 長 宮 田 正 人



ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019-2020年度国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2446

2019-12-20

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会) 12月20日(第3例会)

●例会時間・場所変更

例 会 17:30 ~ 17:45
年末家族会 18:00 ~ 20:40
シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間

次週のお知らせ) 12月27日(第4例会)

休 会

次々週のお知らせ) 1月3日(第1例会)

休 会

次々次週のお知らせ) 1月10日(第2例会)

- 例会時間変更 18:00 ~
- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
- お祝・年男 還暦 誕生日 結婚記念日
入会記念日 会社創立記念日
- 年頭挨拶 中谷佳正会長
- 年男の辞 岡倉 西谷 石濱 各会員
- 食膳 <日本料理 新春特別料理>

先週の記事) 12月13日(第2例会)

●出席報告

出席会員 25名 (内免除会員 3名)
会員総数 44名 (同上 15名)
ゲスト 0名
ビジター 1名
計 26名

ホームクラブ出席率78.13%
11月29日(第5例会)補正出席率100%(MU5名)

●ゲスト&ビジター (敬称略)

花村敏信 (三鎭電器(株)社員)

◆会長の時間◆

今月は、疾病予防と治療月間です。今月のガバナー月信から四宮ガバナーのメッセージの一部をご紹介します。

ロータリーの最優先事項は「ポリオ根絶」である事は、皆様ご承知のとおりです。その他にもマラリア、エイズ/HIV、アルツハイマー型認知症、多発性硬化症、糖尿病等さまざまな疾病の予防と治療に携わっています。貧困地域の誰にとっても「健康である事」は何よりも大切です。でも、基本医療を受けられない人は世界で4億人と言われています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあります。世界で数百万人が病気によって苦しみ、貧困を強いられています。私たちが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、このためです。

病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センター、研修施設を造ったり、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計するなど、私たちロータリアンは人びとが、より良い医療を利用できるように支援していかなければなりません。日本のロータリアンも世界各地で、衛生教育のほか、無料の定期健康診断や眼科・歯科検診も行っています。

病気は何もせず予防できるものではありません。命にかかわる病気の蔓延を食い止め、予防を徹底させるために、私たちはこれからも活動を継続していかなければなりません。

◆幹事報告◆

本日は第2例会ですが、来週第3例会は夜間例会です。早いですが来月の予定を申し上げます。第1例会(3日)は、クラブ指定休会日です。第2例会(10日)は、夜間例会となっております。卓話は、年男の方々にお願い致します。1月は、『職業奉仕月間』です。これを受けまして、第3例会(17日)の卓話は、井上職業奉仕委員長にご担当を頂きます。又この日は、例会の後、職業奉仕委員会のご担当でクラブフォーラムがござります。第4例会(24日)の卓話は、中尾会員のご担当です。又この日は例会の後、クラブ協議会がござります。

疫病予防と治療月間

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

クラブフォーラム・クラブ協議会ともに全員のご参加をお願い致します。特に入会3年未満のフレッシュ・ロータリアンの方々は、必ずご出席頂きますようお願い致します。第5例会(31日)の卓話は、正月ということもあり、夢のある話をと、「夢の電池、全固体電池について」というテーマで、大阪府立大学の辰巳 砂学長をお招きする予定になっております。以上です。

◆ 委員会報告 ◆

雑誌・広報委員会 宮田正人委員長
「ロータリーの友」2019年12月号紹介

【横組記事より】

P.7 12月は「疾病予防と治療月間」です。元気についてでも“ロータリー活動(R活)”を続けていくためには、まずは健康な体づくりが大切です。今回の特集では、日本人の死因第1位である「がん」の予防を中心に、地区、クラブ、個々のロータリアンによる国内外での疾病予防の取り組みについて紹介されています。P.8～P.9では「がん」そのものについて、P.10～P.15では地区や各クラブにおける取り組みが紹介されています。特にP.10～P.11では、第2710地区において2016-17年度の田原榮一ガバナー(公財・広島がんセミナー理事長)の主導により、がん予防推進事業を地区戦略計画として立ち上げ、地区を挙げて以降3年間、がんの予防に取り組まれたとの記事が掲載されています。

P.16に、コンゴ人のデニス・ムクウェゲ氏が産婦人科医として、残忍な性暴力を受けた女性たちを治療し、正義を求めて声を上げ、被害者たちの救済に人生をささげた功績で2018年ノーベル平和賞を受賞したとの記事が載っています。P.21ではロータリーの役割ということで、「コンゴ民主共和国とベルギーのロータリアンは、ロータリー財団のグローバル補助金事業で、ムクウェゲ氏の病院に最新のデジタルエックス線装置を提供できるよう支援しています。」と記載されています。

【縦組記事より】

P.4 AIと先端医療と題した東大医科学研究所附属病院病院長・東條有伸氏の2019年2月9日開催の国際ロータリー第2710地区グループ8IM記念講演の要旨「人間だけでは時間がかかり、見逃すこともあるが、逆に人工知能(AI,artificial intelligence)だけだと同様に過剰に診断したり、見逃すこともあるので、両者を組み合わせることが必

要で、AIをうまく活用すれば、必ずや人間にとって、大きな力になる。」

酒味の会 村上武史キャプテン

2020年2月21日(金)シェラトン都ホテル2階「eu」で、第2回酒味の会を開催します。数種類のワインを品種別に揃えております。多数のご参加をお待ちしています。

写真の会 浅井 晃キャプテン

昨年と同様、年末家族会の折にミニ写真展を開催致します。作品出展を募集致しております。サイズはA4で当日ご持参ください。準備の都合にて、予め表題と枚数をお知らせ頂きますようお願い致します。多くのご参加をお待ち申し上げます。

親睦・出席委員会 山本智重委員長

来週金曜日夜は、家族会です。

卓話

12月13日 <第2例会>

「大阪城南RCの東北大震災後の被災地支援」

三木敏裕会員



2011年3月11日の当日、次年度の理事会の会議をホテルの5階でしておりましたら、急に地震の揺れが来て、携帯の速報で東北地方での大地震の発生を知りました。その後、東北での大震災と津波については、1000年に一度ということが、各地の海辺の他の地層の痕跡の検証から徐々に分かって参りました。津波を防ぐ手立てはありませんが、津波対策として減災という災害の被害を少なくする、人的被害を無くす努力をするといった手立てはいくらでも考えられます。今後予想されます東南海地震の直接の被害、5mの津波の被害によって、大阪においても10万人が亡くなるという想定がなされています。

さて本日の卓話は、「大阪城南RCの東北大震災後の被災地支援」となっていますが、3回に亘って、被災地を訪問し、目撃・体験した状況をお話します。

私が会長になる直前の2011年6月21日から22日にかけての最初の訪問からお話します。私は、まず、避難されている大熊町立大熊幼稚園を訪問致しました。その時の職員のつぶやき、「何時になったら

会員増強にご協力を!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

大熊町に帰ることが出来るのでしょうか」という問いかけに、返事ができませんでした。そしてその後、会津若松城南RCの例会に出席し、翌日同RCの2組のご夫婦と相馬市に行き、松川浦の津波の惨状を見て回りました。夏になると会津の人々が、美味しい海の幸を求めてよく訪れるという松川浦は壊滅的でした。

2回目の訪問が2011年11月4日-5日です。一泊二日の予定で、野中会員、福原元会員、私三木の3人でレンタカーを借り、仙台空港から宿泊先の気仙沼を目指しましたが、行く先々の海岸近くの住宅、田圃、工場、港の設備の津波による惨状には言葉を失いました。途中松島に立ち寄り、境内の杉林が枯れ始めておりました瑞巖寺を訪れました。その後、海岸に沿った道路を北上しましたが、南三陸町の津波で患者さん、医師、看護師の方が100余名亡くなったという志津川病院に着いた頃には、夕方になっており何か霊気を感じました。

無事、大船渡小学校での備品の授与式を済ませましたが、「海から遥かに遠いうちの学校でも、年に2、3回津波の避難訓練をしておりましてので、うまく避難できました。」という校長先生の言葉が忘れられません。この津波で70数名の生徒、先生が犠牲になりました女川の大川小学校とは対照的です。授与式が終了して後、県道脇のドライブインで開催された大船渡RCの例会に出席しました。

3回目の訪問は、2013年4月21日-22日で、福島県・広野町から要望のありました役所で使用する四輪駆動軽四トラックの贈呈式に参りました。当クラブと台湾豊原北區ロータリークラブの義援金を使わせて頂きました。

野中会員、畑田会員、佐伯会員、私三木の4人で仙台空港から会津若松城南RCの会員のお車で、広野町に入りましたが、一時避難ということで、村々はゴーストタウンみたいになっており、ほとんど人はおりませんでした。広野町では、副町長から当時の地震・津波、翌朝の原発事故の様子をお聞きしましたが、「地震直後は職員を総動員して津波からの避難に追われ、結果的には死者2名、行方不明2名という少ない人的被害で終わりましたが、これはJR常磐線が高さ5mの防波堤となって、5mの津波を防いでくれたおかげだった。」ということでした。震災翌日の3月12日原発の爆発事故については、「まったく事故が起こったということは、電気・電話が途絶え、テレビも映らなかったのだからわかりませんでした。役場の前の

陸前浜街道・国道6号線を毛布・布団を積んだ車が数珠繋ぎに走り、やっと事故を知った。」というお話をされ、唖然と致しました。広野町だけでも人口が5、6千人程度で、もし5,000人をバスで全員避難させるとしたら、100台必要になりますが、そんなバスはどこにあるのでしょうか。いかに原発政策が事故を想定していなかったか、危ういお話です。今回の東北の被災地を巡り、ただただ亡くなられた方のご冥福を祈り、住民の生活の復興を祈ると同時に、もし大阪で大津波、大地震が来たらという心の準備を起こさせてくれました。

にこにこ箱

12月13日(第2例会)

- 娘が税理士試験に合格しました。

梅崎会員

- 拙いお話を致しますのをお許しください。東日本大震災の発生から8年9ヶ月経ちますが、皆様の記憶から大分遠のいてしまっていると思います。再度あの時の大災害、その後の当クラブの支援について、思い出して頂きたく本日の卓話を致します。大阪でこのような災害があれば、10万人もの人の命が奪われる想定ですので、日頃から様々な対策を講じて頂きたく思います。

三木会員

- その他、お祝い 1件

(編集担当 岩永・石濱)

会員増強にご協力を!!